

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名	Stack up高槻川西		公表日 2026年4月8日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0	・活動ごとのエリア分けがされている。 ・子どもたちの意識がいるんなどころに向かないように部屋を広く使っているのがとても工夫されていると思った。	・仕切りがないため、子どもが走れる環境なのでこけてしまわないか、など安全面も気にかけていくといいなと思った。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	85.7	14.3	・子供1~2人に大人が1人つける配置	・たまに手薄な状態が見受けられる。 ・部屋からいなくなる時や、子どもがいる場から離れる際は声掛けがあるといいなと思った。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	71.4	28.6	・活動部屋はバリアフリーになっている。 ・段差はあるがスロープなどで対応している。 ・改善点を共有できる環境がある、なるべく早急に対応してもらえ。	靴箱からの出入り口、保育室、トイレ(2箇所)が狭い空間で繋がっている為、ドアの開け閉めでぶつかると、挟まれるなどでも注意が必要。 ・バリアフリーにできるところはしているが、入り口付近は段差もあり少し危ない時がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0	・おもちゃの消毒や、部屋の清掃など、以前より改善されたと思う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	71.4	28.6	・クールダウンのときには廊下か事務所で大人が見れるように対応している	・室内にクールダウンする空間が欲しい。 ・認められてはいるが、子どもがクールダウンする場所がない。 ・クールダウンなどで使用できる部屋はない。 ・クールダウンできる個別のスペースを常に確保したい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	57.1	42.9	・以前より職員同士での意見交流が増えたと思う。 ・職員全体での目標を掲げられていることが増えた。	・その日の子どもの様子、成長、目標など会議に参加しないパート職員も自ら発信していく必要があると思う。 振り返りはするが長続きをしないことが多い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	・朝礼時や、子どもがいない状況での前日の反省点や意見を交流する機会がある。 ・無記名アンケートで意見を寄せてミーティングしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	85.7	14.3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0	・SNSで発信している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100	0	・全職員の意見を取り入れていると思う。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	・担当制だが、みんなで相談しながら作成している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	85.7	14.3		

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	85.7	14.3		
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100	0		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0		
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	85.7	14.3		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0		
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0	・支援内容や本人の様子についての申し送りを送っている。	・移行後は直接学校に聞くよりは保護者から様子を伺うことが多い。
28	(28～30は、センターのみ回答)				
28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)				
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	71.4	28.6		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14.3	85.7		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71.4	28.6		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100	0	・年1～2回の保護者会を設けている	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14.3	85.7		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	85.7	14.3		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	85.7	14.3		・避難訓練は机上での話し合いが多いため、実際にとる行動を少し増やしていきたい
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	85.7	14.3		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	57.1	42.9		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	71.4	28.6		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	85.7	14.3	SNSで周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	85.7	14.3		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	85.7	14.3		マニュアルは策定しているが、現場レベルで十分に反映されていない	

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名	Stack up高槻川西		公表日			2026年4月8日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83.3	16.7	・2階なので階段あり。屋内の動線に段差があるが、段差にはスロープを行っている。 ・構造化は出来ている。	・靴箱からの出入り口、部屋、トイレ(2箇所)が狭い空間で繋がっている為、ドアの開け閉めでぶつかる挟まるなどとても注意が必要。対策して欲しい。 ・バリアフリーにできるところはしているが、入り口付近は段差もあり少し危ない時がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0	・運動部屋と作業する部屋に分かれている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	66.7	33.3	クールダウンの際には廊下や事務所などで大人の目がいくところで行うことがある。	・クールダウンできる空間が室内に欲しい。 ・専門療育で使用する部屋はあるが、クールダウンなどで子供が自由に使用できる部屋はない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	83.3	16.7		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	・毎年実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83.3	16.7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	・毎月研修を計画して行っている。外部講師も呼んでいる。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	社員全員で会議で話し合っている。その場にはいないスタッフには様子を事前に確認している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	66.7	33.3	会議に参加しないパート職員も子どもの様子や気づいた事は自ら発信していく必要があると思う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	担当者会議などでの情報交換、送迎時にその日の様子の情報共有をしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	83.3	16.7		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0	担当者会議などでの情報交換、送迎時にその日の様子の情報共有をしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	66.7	33.3		障害福祉サービスへ移行する年齢まで利用する事がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	83.3	16.7		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	16.7	83.3			

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	50	50		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83.3	16.7		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0	年1~2回の保護者会を設けている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16.7	83.3		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	83.3	16.7		
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83.3	16.7		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	66.7	33.3		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83.3	16.7		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0		

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83.3	16.7		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0		